

Finding
New Value.

Simply
For Your
Pleasure.

TORIDOLL→

www.toridoll.com

当社はホームページにおきましても
最新のトピックスをはじめとして
IR情報や会社情報など
様々な情報をご案内しております。



東京本社

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂一丁目21-1 渋谷ソラスト19階
TEL:03-4221-8900(代表) TEL:03-4221-8919(IR専用)

神戸オフィス

〒651-0088 兵庫県神戸市中央区小野柄通七丁目1-1 日本生命三宮駅前ビル11階
TEL:078-200-3430(代表)

※この冊子についてのお問い合わせは、上記IR専用電話番号までお願いいたします。

TORIDOLL→

BUSINESS REPORT **#31**

株 主 通 信

株式会社トリドールホールディングス

第31期 事業報告書【2020年4月1日～2021年3月31日】

株主のみなさまへ

平素は、格別のご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。
株主様におかれましては、この災禍にあってご苦勞も
多いかとお察しいたしております。

今般の世界規模での厳しい状況のもと、当社グループ
は、“Finding New Value. Simply For Your
Pleasure.”をMissionに掲げ、「できたて、本物のおいし
さを、すべてのお客様へ」の思いを原点に、それぞれの
地域一番店を目指して、邁進してまいりました。

当期におきましては、休業を強いられる店舗もござい
ましたが、運営店舗においては、感染防止策を徹底する
ほか、“できたて”のおいしさをご家庭でも味わってい
だきたいという思いからテイクアウトを強化するなど、
できうる限りの対応をしております。

今後におきましては、社会情勢等を踏まえ、ご利用
いただくお客様の安全を第一に考えた対応に努めて
参る所存でございます。

また、当社グループは「世界に通用する食のグローバル
カンパニー」を目指しております。私たちが持続的な
成長を遂げ、真のグローバルカンパニーとなるためには、

地球の持続可能性（サステナビリティ）にも目を向け、
さまざまな社会的役割を果たすことが必要だと考えて
います。その一環として、世界共通の目標であるSDGs
達成に向けた取り組みや、国連グローバル・コンパクトの
10原則に基づく貢献を通じて、世界からの信頼を得ら
れるよう一つずつ取り組みを進めてまいります。

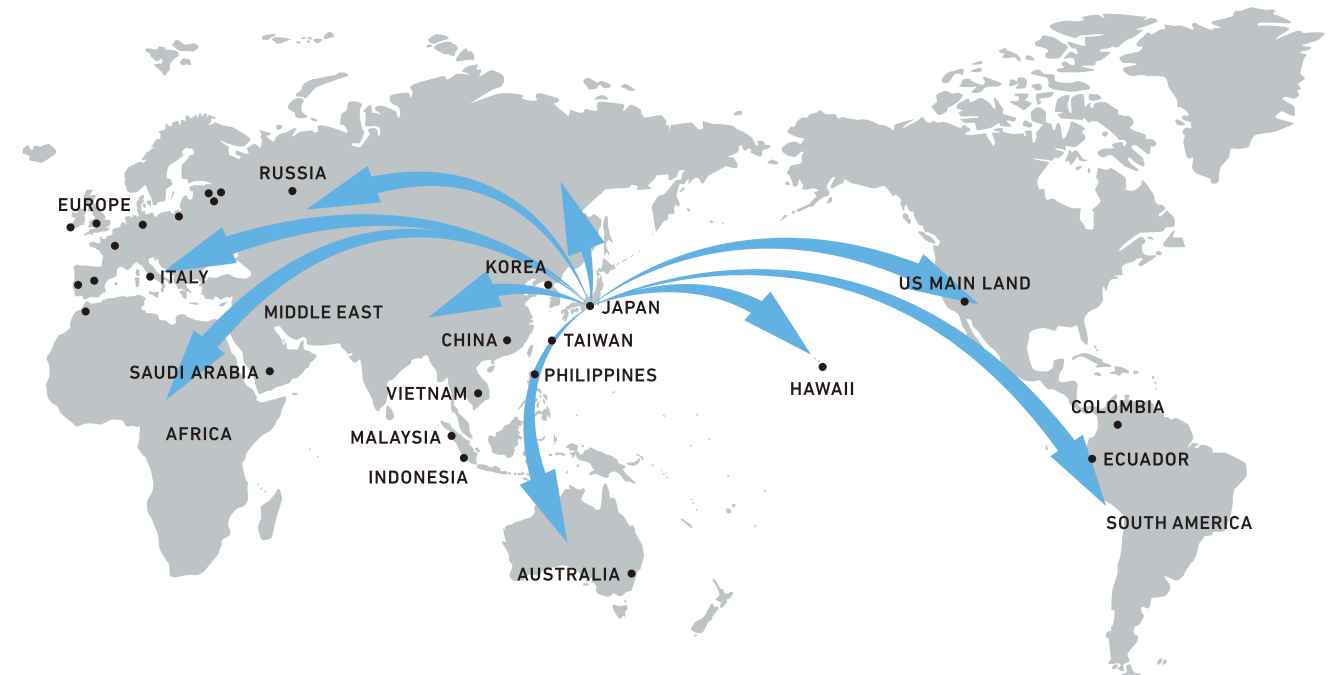
当社グループのサステナビリティに関する活動は
「自分たちの地球を耕す活動」「未来の利益を積む活動」
であると捉え、引き続き多くの挑戦を続けてまいります。
これからも社員一同心を合わせ努力を重ねて参りますの
で、一層のご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

最後になりますが、一日も早い終息を願いつつ、株
主様におかれましてもお身体を第一にお過ごしくださ
いますようお願い申し上げます。

株式会社トリドールホールディングス
代表取締役社長兼CEO

栗田 貴也

President, TORIDOLL Holdings Corporation
Takaya Awata



世界中が私たちのマーケット。

「手づくり・できたて・臨場感」にこだわり、

多様な食文化や嗜好に対応します。

また、主力業態である「丸亀製麺」で創出した事業基盤を活かし、

新たな付加価値を持つ業態を育成する

グローバルマルチブランド戦略を展開してまいります。

サステナブルな社会の実現を目指し、 社会貢献活動や環境問題に積極的に取り組んでいます



外食5社41店舗合同での飼料化による食品リサイクル
ループ構築の取り組みに当社の丸亀製麺が参加。



品川区と提携し「しながわ子ども食堂」を支援。品川区
社会福祉協議会を通じて「しながわ子ども食堂ネット
ワーク」に食品の無償提供を行うなど支援を実施。



医療従事者支援活動を継続。神奈川県内の医療機関に
丸亀製麺のキッチンカーを出動し、多くの医療従事者
の皆様当社自慢のうどんを提供。

「DX ビジョン2022」を策定し、 デジタルトランスフォーメーションの推進を強化 経済産業省が定める「DX認定事業者」の認定を取得

当社は、世界中で食体験を通じた感動をお届けする
ことを目的に、店舗におけるお客様の体験価値の最
大化に取り組んでいます。

その実現を支援すべく、経営戦略の一環として、「DX
ビジョン2022」を策定し、デジタル技術の活用を進
め、店舗を支えるビジネスプロセスの最適化を図っ
ております。また、当社のDXの取り組みが評価され、経
済産業省が定める「DX認定事業者」として認定いた
だきました。

今後においても、変化の激しいビジネス環境において、

多様化するお客様ニーズや社会課題に柔軟かつ機動
的に対応するため、新規ビジネスのモデルの創出や
既存ビジネスモデルの深化等を促進し、企業価値向
上を目指してまいります。

※DX(デジタルトランスフォーメーション): 高速イン
ターネットやクラウドサービス、人工知能(AI)などの
IT(情報技術)によってビジネスや人々の生活の質を
高めていくこと。





積極的に海外出店を継続

香港で人気の米線ヌードルチェーン「譚仔雲南米線」が中国本土初進出

香港で展開する人気の米線ヌードルチェーン2ブランドが海外初進出。2020年11月に「譚仔三哥米線」をシンガポールに、2021年4月には「譚仔雲南米線」を中国

本土に出店。また、2020年10月にシンガポールで展開している日本式カレー店「MONSTER CURRY」のハラ業態「MONSTER PLANET」が同国初出店。

ニューノーマル時代を見据え、テイクアウトが進化！ 丸亀製麺で、自慢の打ち立てうどんと、 天ぷら・おかずが一つになった「うどん弁当」を販売

丸亀製麺の新しいテイクアウトの形は、手軽さ運びやすさで人気を集め、販売を開始してわずか2週間で100万食を突破いたしました。



連結PL(IFRS)

(単位:百万円)

	当 期			計 画		
	金 額	売 上 比	前 年 比	金 額	売 上 比	計 画 比
売上収益	134,760	100.0 %	86.1 %	134,600	100.0 %	100.1 %
事業利益	△ 3,872	△ 2.9 %	-	△ 3,800	△ 2.8 %	-
EBITDA	10,692	7.9 %	42.8 %	-	-	-
調整後EBITDA	17,395	12.9 %	60.2 %	-	-	-
営業利益	△ 7,336	△ 5.4 %	-	△ 8,300	△ 6.2 %	-
税引前利益	△ 9,119	△ 6.8 %	-	△ 10,100	△ 7.5 %	-
当期利益	△ 5,419	△ 4.0 %	-	△ 7,000	△ 5.2 %	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	△ 5,456	△ 4.0 %	-	△ 7,050	△ 5.2 %	-

	前 期	
	金 額	売 上 比
売上収益	156,478	100.0 %
事業利益	8,881	5.7 %
EBITDA	25,009	16.0 %
調整後EBITDA	28,874	18.5 %
営業利益	4,367	2.8 %
税引前利益	2,837	1.8 %
当期利益	1,941	1.2 %
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,956	1.3 %

※調整後EBITDA=
EBITDA+減損損失+非経常的費用項目
(EBITDA=営業利益+その他の営業費用－
その他の営業収益+減価償却費および償却費)

連結BS(IFRS)

(単位:百万円)

	当 期		前期末		
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	増 減
資産合計	209,411	100.0 %	209,978	100.0 %	△ 568
流動資産	32,823	15.7 %	32,536	15.5 %	287
非流動資産	176,588	84.3 %	177,443	84.5 %	△ 855
負債資本合計	209,411	100.0 %	209,978	100.0 %	△ 567
負債合計	169,471	80.9 %	163,414	77.8 %	6,057
(うち、有利子負債)	143,324	68.4 %	141,735	67.5 %	1,589
流動負債	54,412	26.0 %	42,694	20.3 %	11,717
非流動負債	115,059	54.9 %	120,719	57.5 %	△ 5,660
資本合計	39,940	19.1 %	46,565	22.2 %	△ 6,625
(うち、親会社の所有者)	39,461	18.8 %	45,427	21.6 %	△ 5,966

連結CF(IFRS)

(単位:百万円)

	当 期	前 期	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,258	29,593	△ 8,334
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,399	△ 12,986	3,587
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 13,149	△ 5,190	△ 7,959
現金および現金同等物の期末残高	24,969	25,801	△ 832

株主優待の内容

年2回、毎年3月31日および9月30日現在の株主名簿にそれぞれ記載された当社株式1単位(100株)以上を保有されている株主様を対象に、株式会社丸亀製麺、株式会社肉のヤマキ商店、株式会社トリドールジャパン、株式会社Fast Beauty、株式会社アクティブソース、株式会社ZUNDが運営する国内店舗においてご利用いただける優待券を贈呈いたします。

継続保有株主優待制度

当社株式を1年以上継続して200株以上保有されている株主様を対象に、3月31日および9月30日を基準日として、年に2回3,000円分の優待券を追加贈呈いたします。

優待券 贈呈基準

所有株式数に応じ、以下の通りに贈呈いたします。

保有株式数	優待内容	継続保有優遇制度	
実施回数	年2回	年2回	
100株以上～200株未満	100円優待券 30枚(3,000円相当)	左記に追加	—
200株以上～1,000株未満	100円優待券 40枚(4,000円相当)		100円優待券 30枚 (3,000円相当)
1,000株以上～2,000株未満	100円優待券 100枚(10,000円相当)		
2,000株以上	100円優待券 150枚(15,000円相当)		

※2020年3月31日(火)を基準日(効力発生日:2020年4月1日)として、同日最終の株主名簿に記載された株主様の所有する普通株式を、1株につき2株の割合をもって分割いたしました。

株式の状況 (2021年3月31日現在)

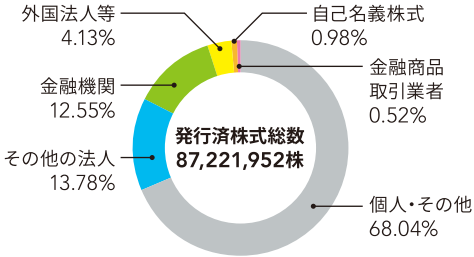
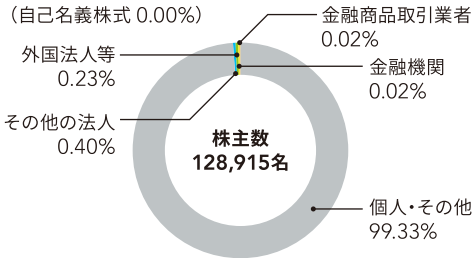
証券コード 3397 発行済株式総数 87,221,952株
発行可能株式総数 230,400,000株 株主数 128,915名

大株主持株数比率 (2021年3月31日現在)

	持株数(株)	持株比率(%)
栗田 貴也	27,575,472	31.93
有限会社ティーアンドティー	11,160,000	12.92
特定有価証券信託受託者 株式会社SMBC信託銀行	3,736,000	4.33
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,942,300	2.25
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	1,695,100	1.96
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	744,900	0.86
株式会社日本カストディ銀行(信託口6)	662,300	0.77
株式会社日本カストディ銀行(信託口1)	600,200	0.69
アリアケジャパン株式会社	600,000	0.69
JP MORGAN CHASE BANK 385781	461,263	0.53

※持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況 (2021年3月31日現在)



役員 (2021年3月31日現在)

代表取締役社長 栗田 貴也
常務取締役 田中 公博
取締役 神原 政敏
取締役(監査等委員) 梅木 利泰
取締役(監査等委員) 梅田 浩章
取締役(監査等委員) 片岡 牧

会社概要 (2021年3月31日現在)

社 名 株式会社トリドールホールディングス
主な事業内容 飲食業を中心とする傘下子会社の経営管理
設 立 1990年6月11日 有限会社トリドールコーポレーション設立
1995年10月28日 株式会社トリドールに組織変更
2016年10月1日 持株会社体制移行に伴い株式会社トリドールホールディングスに商号変更
2019年9月1日 兵庫県神戸市から東京都渋谷区へ本店所在地変更
資 本 金 42億2,825万9,299円